



TCA ニュース

= 2003年7月発行 = 【No. 173】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しむ 行楽・旅を楽しむ 道楽・道を楽しむ 友楽・友と楽しむ 遊楽・遊びを楽しむ

第57回『東京いいところ自転車散歩』 = 中川に沿って!!

今回は、夏の暑い時期なので水辺を走るコースを企画しました

- 集合日時：8月3日(日) 9時30分 10時スタート(雨天中止)
- 集合場所：都営新宿線東大島駅小松川(東)口集合
- コース：大島小松川公園～平井大橋～上平井橋～中川緑道公園～新中川通水記念公園～御殿山公園～熊野神社～江東新橋～亀戸浅間神社～東大島駅 約30km
- 担当：北川常夫(当日の連絡は、携帯電話：090-9142-2621)
- 注意事項：フリーランは自由参加です。但し、途中で離脱する時は仲間やコース担当者に声をかけて下さい。サイクリング中の事故、けが等に十分注意して各自の責任において走って下さい。

『2003東京シティサイクリング』の協力要請

東京シティサイクリングが3年目を迎えて今年も計画されています。

コースは昨年と同じ都庁から若洲までのコースで、募集人数も1,500人を予定しています。詳細な内容、人員体制はまだ決っていませんが、例年とほぼ同じ予定です。今年もTCAで独自の打合せを9/10(水)に文京区民センター3-C会議室で開催します。ご協力可能な方は、早めに事務局までお知らせ下さい。ご協力をお願いします。

『東京シティサイクリング』の開催は、近年、地球温暖化防止が叫ばれ、自動車の排気ガスが大きな環境問題となっている折から、市民が休日を利用して自転車でゆっくり都内をサイクリングし、健康と英気を養うためのイベントとして、年一回東京で実施されることとしたものです。

- 開催日：平成15年9月21日(日)
- コース：都庁前～神宮外苑～パレスサイクリング～夢の島～若洲海浜公園～夢の島

サイクルオリエンテーリング(OL)の実施

『都民スポレクふれあい大会』で今年もサイクルOLを実施します。

いわば、ゲーム感覚の『東京いいところ自転車散歩』と言ったところです。

- 開催日：平成15年9月28日(日) 9時～15時 雨天順延(日曜日)
パレスサイクリング受付前に9時までに集合
- 会場：パレスサイクリング(スタート・ゴール)を中心として半径約4kmの範囲
- 参加費：東京協会員 500円、他県協会員1,000円、一般 1,500円(払込まれた参加費は返却いたしません)東京会員は事前に申込んであれば当日支払いでも可。詳細のお問合わせ・申込は、事務局まで。

REPORT

伊豆大島一泊ラン

7月4日(金)～6日(日)

【その1】

TCA会員：山内 郁範

約1年半振りに長距離サイクリングを楽しみました！

今回の大島は、妻を同伴することで特別なものになりました。

大島の周回はアップダウンが激しく、妻が走行を楽しめるのは平坦な「サンセットパームライン」だけと決めていましたので、伴走車には大変助けられました。伴走車の渡辺さんと岡田さん、ありがとうございました。妻も、初日はほんの少し上り坂も走って島のアップダウンを体験でき、「大島大砂漠」ドライブ、「火山博物館」見学、「ぷらっとハウス」のおいしい牛乳を堪能、2日目の「御神火温泉」と、これだけで十分大島を楽しめたと思います。

1日目に印象に残っているのは眺望です。宿を出てすぐの二本松辺りの高台、「筆島」、「波浮港見晴台」、ぼんやり見えた「伊豆諸島展望台」、ここからの海はとてもきれいでした。前回とは逆の大島周回走行(時計回り)、出発前に楽しみにしていたのは初走行の「樁トンネル」でした。大きな木々の所々で紫陽花が咲き、青々と燃える草木の緑が鮮やかでした。「サンセットパームライン」から「ぷらっとハウス」への行程が体力的にもっとも疲れしました。初めて訪れた前回の大島一周では全日程お天気に恵まれましたが、今回は1日目が晴天だったものの、2日目はあいにくの雨模様。都内も寒かったとのことですが、同じ都内の大島も肌寒かったです。この雨は、色とりどりのきれいな紫陽花(三原山へ登る沿道)と呼吸を楽にしてくれる湿った空気をもたらししてくれました。

2日目は、天候の影響で三原山登山コースと「郷土資料館」や「ばれ・ら・めーる」見学コースの2つに過ごし方が別れました。朝、土砂降りの雨を見て、僕自身は「三原山走行はない」と思い、皆さんとゆっくり過ごそうと思っていました。しかし、朝食後の話し合いの中で、古藤田さんから三原山登山の希望が出て、僕も「一人でも三原山へ走る人がいれば、ご一緒したい」と思い直し、雨の中三原山を楽しみました。走行中落とした鍵を谷合さんに拾ってもらい助かりました。谷合さん、ありがとうございました。

頂上はやはり雨の中、何も景色は見えませんでした。古藤田さん、中田さん、磯部さん、吉田さん、谷合さん、北川さんと共に完走でき、達成感・充実感が得られました。

2日目も「サンセットパームライン」を利用して牛乳を飲みに行き、島ずし代わりにおいしい「づけ井」を昼食で食べられて地物を楽しめました。



最後は温泉で疲れも癒せ、帰宅後は良く寝られました。

「ジェットホイール」により身近になった大島、自然とおいしい地物を体全体でたのうでき、良かったです。毎回、皆さんとの出会いを楽しみにしていますが、今回は17名が参加。また次回もぜひ参加して、多くの方々とサイクリングを楽しみたいです。

幹事の藤田さん、夫婦で大変楽しいサイクリングを楽しむことができました。ありがとうございました。

追伸：皆さんのおかげで楽しい時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。

皆さんの健脚振りにはとてもびっくりしました。とても皆さんについていくことはできませんが、またご一緒したいと思いますので、よろしく願います。

山内 磨希子

【その2】

TCA会員：中田 修二

「TCA一泊ラン伊豆大島」に参加して

2003年7月4日夜10時、竹芝棧橋に17名が集合した。内15名は各自自転車を持参。

自転車のグループはTCAだけかと思ったら、ほかにもMTBガイドツアーのグループがいた。我々は輪行状態で乗船したが、彼等は自転車をそのまま運び込んだ。自転車持込料は500円/台だが輪行は無料、我TCA幹事の慧眼に感服。

隣の遊覧船の乗場に浴衣姿の人達が大勢集っていた。浴衣（ゆかた）を着た二人連が歩いてきたので聞いてみた。

「皆さんどうして浴衣を着ているのですか。何か特別な催しでもあるのですか？」

連れの男性の答え「浴衣を着て遊覧船に乗ると、特別割引があるのです。」

船の後部甲板に陣取って出航を待たずに乾杯。一昨年吉田さんによる大島レポート通りの展開となった。船の進行に伴って、レインボーブリッジ、東京タワー等東京の夜景が一大パノラマを構成し、船上のあちらこちらから歓声が上がった。京浜方面は光の渦。千葉方面はうっすらと青暗い山並を背景に一つの大きな光の固まりが見えた。

「あれは何だろう。船にしては光の数と位置がおかしいね。」

「多分位置からして海ホテルだよ。」

「いや海ホテルにしてはおかしいよ。あれは何かの作業船の光じゃないのかな？」

皆でがやがや話していたが、結論はアクアラインの川崎人工島(風の塔)が正解でした。

船上の宴は夜中の一時を回ったところでお開きとなりました。これは前回の反省を踏まえての英断(?)だそうです。

伊豆大島岡田港には朝5時ごろ到着した。接岸に多少時間がかかる間、支度を終えた観光客の多くが甲板に並び、今は遅しと下船を心待ちにしていた。

自転車をトラックの荷台に積込んでマイクロバスに乗りこんだところで、迎えに来た宿の方より「私はバスを運転するので、誰かトラックを運転してください。」とのこと。昨夜酒量の少なかった(?)私が名乗りを挙げてハンドルを握り、助手席に陣取った岡田さんのアドバイスを頼りにバスの後から付いていった。

宿(今回は、民宿で別の場所に新しく建てたバンガロー)で仮眠を取った後、7時ごろ朝食のため本館へ移動。今度は軽トラックの運転を古藤田さんにバトンタッチした。朝食後9時頃、自転車を組んでいよいよ大島一周に出発した。季節は7月上旬の梅雨真盛りの時期にも拘らず晴天に恵まれた。今回の幹事の藤田さん曰く、「私は晴れ男なので天気は任せてください。」彼の言葉通り梅雨を感じさせない素晴らしい天気感謝した。大島の北

に位置する岡田の町から「大島一周道路」を時計回りに走り出した。走り出してまもなく大小二つのトンネルがあったが、一周道路でトンネルがあるのはここだけだった。

途中のコンビニで水分を補給。最初の休憩は「都立大島公園」。ここまで僅か7kmくらいだが、この公園の入口には「海のふるさと村 椿資料館」があり、何百種類もの椿の花のコレクションも見事でした。この辺りは海拔80mくらいで、このあとながあ〜い登りが続いた。約10km登った所に奥山砂漠（海拔350m前後）がありバス停（海拔285m）があった。バス停の前には、裏砂漠（海拔約450m）から三原山（標高764m、1986年の噴火以前は758m...名古屋と覚えていた由）へと続くハイキングコースがあった。ここで、MTBの3~4人がチャレンジして砂漠の中へ走り出した。程なく追いついたサポートカーに5~6人乗りこんで後を追った。車で5~6分走った所に、ここより先車両進入禁止の立て看板があった。見事な山並と青く澄んだ空を背景に集合写真を撮ったが、残念なことにカメラの操作ミスのため貴重な写真を消してしまった。

砂漠での珍しい体験をした後、大島の東側ほぼ中央に位置している「海のふるさと村」への分岐を過ぎた辺りから、一周道路は下りになる。約10kmの素晴らしい下りを満喫すると景勝地「筆島展望台」に出た。

筆島から数キロ走った所に波浮港展望台があり、向いの眺望の良いレストランで休憩を兼ねて昼食となった。昨年一年いろいろ事故が多かったせいで薬が利いたのか、昼は皆さんビールを少々飲んだだけで品行方正でした。

宿に帰り着くまでにいろいろ貴重な見聞を深めることができた。シーサイドロード。トウシキの見晴らしスポット（断崖上で古藤田さん熟睡）。間伏地層切断面。火山博物館。元町から海岸線の自転車道路「サンセットパームライン」。愛の鐘。新開放牧場。ミルクハウスの美味しい牛乳。

いよいよ宿へと言うところで、林の中の交差点で道が分からなくなった。そこで一人ずつ調査に走った。中村さんは右へ。磯部さんは真直ぐ。谷合さんは左へ。戻って来たのは谷合さんのみ。「こっちの方角で合っていたよ」との報告があった。調査に出た二人を残したまま行こうか迷ったが、いつまで待っても仕方ないので、その辺に転がっていた石をチョーク代りに、路面に矢印とTCAの宿はこっちと書残して、皆で谷合さんの後に従った。宿が近づいて来たとき、中村さんを発見。宿に着いた時、磯部さんを発見。なんてことはないそれぞれ個人行動で戻る気は無かった由。「戻る約束はしていなかったよ」との弁。風呂を浴びてから、夜は庭でバーベキュー。11時頃には皆さん眠りにつきました。



《於：元町 参加者 17名》

【6月末現在 会員数 272名】